

# 地域貢献活動・ 職業体験イベント

9月  
September

## 『元気フェスティバルinきたひろしま 2025』にブースを出展しました

2025年9月7日(日)、北広島市総合体育館で開催された『元気フェスティバルinきたひろしま2025』において、本学から歯科衛生士専門学校の教員2名と学生4名が参加し、ブースを出展しました。

ブースでは、唾液を用いた「虫歯になりやすさ測定」のほか、「歯磨き方法」や「歯磨き粉の選び方」などをテーマに体験型の企画を行いました。当日はあいにくの天候にもかかわらず、お子様からご年配の方まで約30名にご参加いただきました。本学では、今後も地域の皆さまの健康増進に貢献できるよう活動を続けてまいります。



9月  
September

## サツドラFES 2025

2025年9月27日(土)・28日(日)、つどむにて開催された「サツドラFES 2025」の子ども体験ブースに本学が参加しました。参加者には白衣を着用してもらい、27日(土)は歯科医師のお仕事体験として、人工歯を使った虫歯治療体験や指の印象採得を行いました。28日(日)は歯科衛生士体験として歯面研磨やシーラント(虫歯予防処置)体験、RDテスト(唾液による虫歯チェック)も行いました。2日間の参加者は300人を超え、本学でめざすことができる職種の一部を体験していただきました。

10月  
October

## 包括提携協定を結ぶ中標津町にて 理学療法学科岩部講師による教育 プログラムが開催されました

2025年度の教育向上改善プログラム「難病患者のニーズ調査と支援活動を通じた高学年学生のプロフェッショナリズム涵養プログラム」の一環として、2025年10月4日(土)と5日(日)の2日間にわたり、包括連携協定を締結している中標津町で活動を実施しました。

このプログラムは、将来の医療専門職をめざす学生が、難病と共に地域で生活する患者様との対話や支援活動を通して、使命感や責任感を育むことなどを目的としています。今回の活動は、理学療法学科の岩部達也講師と中村英雄助教が中心となり、一般財団法人 北海道難病連および中標津町のご協力のもとで実現しました。当日は、中標津経済センターなかまっぴを会場に、学生たちが難病患者様やそのご家族に直接インタビューを行いました。日常生活でのリハビリテーションに関するお悩みやご希望を真摯に伺い、教科書だけでは得られない「生の声」に耳を傾ける貴重な機会となりました。本学では、今後も地域医療への貢献を目指し、このような実践的な学びの機会を積極的に創出してまいります。



10月  
October

## 病院ではたらく 福祉のしごと体験講座in北広島市

2025年10月13日(月・祝)、北広島市にて、本年度2回目の「病院ではたらく福祉のしごと体験講座」を開催しました。社会福祉法人北ひろしま福祉会・社会医療法人母恋日鋼記念病院・北海道医療大学病院の協力のもと、看護福祉学部福祉マネジメント学科が主催(後援:一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会、福祉マネジメント学科同窓会)。福祉マネジメント学科の在学生が中心となり、社会医療法人母恋日鋼記念病院の医療ソーシャルワーカー(MSW)と一緒に運営した企画です。

今回の内容は、思いがけない妊娠(妊娠5か月)と分かったばかりのとまどう妊婦にMSWが寄り添うというもので、とまどいの向こう側にある「産みたい」想いと、「不安」をキャッチし、助産師、市町村保健師、児童相談所、社会福祉協議会などを、次々に妊婦のサポーターにしていきます。この様子を参加者と一緒に、ロールプレイと動画で確認し、在学生からの疑問に現場のMSWが答える形式で開催しました。

いのちの重さとMSW支援の可能性を感じることでできる体験講座となりました。

12月  
December

## 医療職体験ビレッジ 帯広版 見る知る薬剤師・歯科医師

2025年12月21日(日)、岡書 帯広イーストモール店にて、薬剤師・歯科医師の職業体験イベントを開催しました。当日は小学生から高校生までたくさんの方々に薬剤師や歯科医師のお仕事を体験していただきました。薬剤師の体験ではお菓子を使った分包体験、アロマオイルを使ったアロマスプレーづくり体験を用意し、歯科医師の体験では義歯を使った虫歯の治療体験を用意しました。このイベントは、本学薬学部同窓会が中心となって企画したもので、歯学部同窓会・本学教員・在学生に加え、帯広市で現役の薬剤師・歯科医師として活躍する卒業生がスタッフとして参加しました。



1月  
January

## 南幌町の学習交流会で薬学部 奥田助教が講師を務めました

2026年1月28日(水)、南幌町保健福祉総合センターにおいて、薬学部の奥田衣理助教が南幌町在住の町民の皆さまを対象とした学習交流会の講師を務めました。この交流会は、南幌町社会福祉協議会が介護支援ボランティアポイント事業の一環として実施しているものです。当日は39名の住民の方々が参加されました。奥田助教は「くすりの正しい飲み方」をテーマに、身近な事例や簡単な実験、クイズを交えながら、薬を安全かつ効果的に使うためのポイントをわかりやすく解説しました。参加者からは、ご自身が服用している薬に関する質問も多く寄せられ、活発な意見交換が行われました。終始和やかな雰囲気の中で、薬の正しい知識を学ぶ有意義な時間となりました。